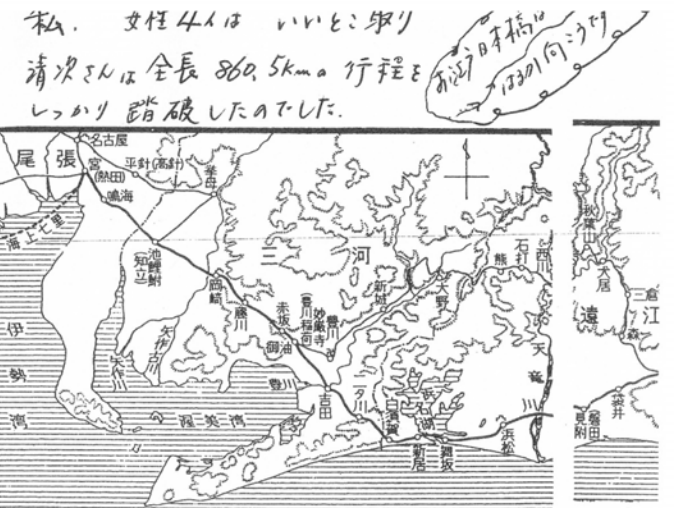
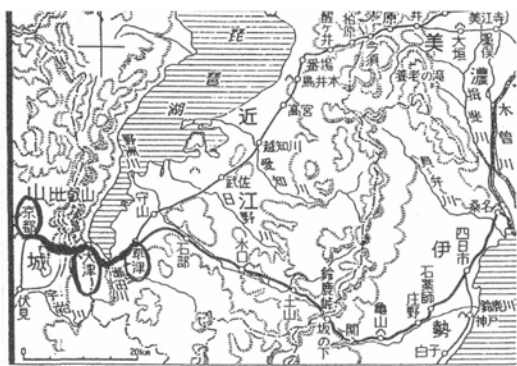


2010年

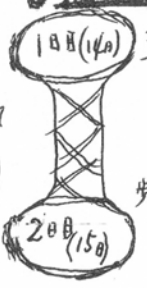
7/29 葉月 2012 フレコソロコンキ

# 右馬允へよう



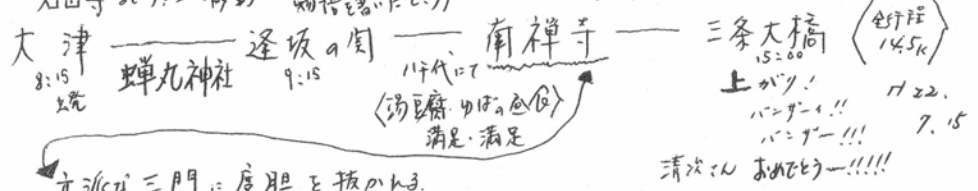
山百合の花も盛りを過ぎ むせかえさような香りから  
 やわらかな懐かしい香りに変わり、みずみずしくなっています。  
 梅雨明け前の2日間仕上げの大雨を降らせ 16日からは  
 予て平を返すように夏の猛暑日、これが=週間か、と続き、久しぶり  
 いたところへ今日の雨で日本列島ようやくひと息つけた。山奥  
 で暮らす私たちもまた、静かな雨音を聞きながら雨に濡れる  
 苔を見ながら朝からおたよ里と向かい合っています。

草津-大津-京都 約35kmの旅



草津 (19.5km) (14日 15日) 大津  
 大津川 石 膳 養 大津  
 大津川 山 竹 仲 大津川  
 大津川 大津川 大津川  
 大津川 大津川 大津川  
 大津川 大津川 大津川

これ心この行く帰る別には  
 知るを知る 逢坂の関



その大雨の14日、15日 私は同級生5人と 東海道の旅に出た  
 いてして1日は 草津から大津までの道中 雨の中をひたすら歩  
 いていたのでした。小学校1年生の時からその人→清次さん  
 いうのですけと、そのころ、頭かよって、そのころ、大人になりて大津の  
 企業に就いて力を発揮し、一線と退いてからは、ひたすら街  
 道歩きにはまっていた 中山道と始めは甲信越道、善光寺街道  
 塩道、北国街道、伊勢参宮道...他にまたいくつと...中山道と  
 東海道の出発点、お江戸日本橋を出発したのはH16.11.7  
 中山道と18年の7月に終え、甲信越道20年11月に終え、東海道の旅の始  
 めたのが21年の1月から。一人で黙々と歩き続け最後のいい  
 と、ろろ不参加 希望を募りたくて集ったのが"熊さん、サン、ジャンクション"

立派な三門、度胆を抜かぬ。  
 日本人、美意城、高さは、落発される思い。  
 建物は裏手にある琵琶湖流水の水路閣が、  
 素晴らしい。眼下スペイン旅行の時に見たセゴピアの  
 水道橋を思っ出した。こちらはレニガ造り、お寺  
 は石とレニガの、どうして大きく、建物は積み  
 上げてあった。2004年の大史とセゴピア  
 と明治時代に完成した水路閣、人間の  
 知恵と技は計り知れない。やはり神の降  
 りてくると言われるのだから.....



今回の旅は、正介が商工会の記念行事と重なってしまい、残念  
 ながら不参加。14日の夜の地元の旨いお酒、食べ物、初体験の鮎鱈  
 の話に至っては、悔しくて反応なし。美味しいもの、大好きな正介  
 しかし、その前に「街道を歩く」という「約束」があると忘れては、いか